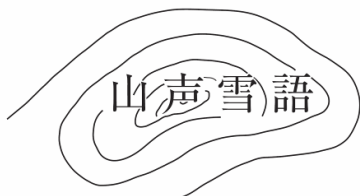


京交山岳部報

例会予告（2022年2月～6月）

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2843回 府民 野鳥観察会 (岳連自然保護委員会主催) 三川合流地点桂川左岸	2月20日(日) 集合 午前9時 京阪「石清水八幡宮」駅前	方山宗子 岡田茂久	石清水八幡宮駅・御幸橋・桂川左岸を下流へ約3km散策・正午頃現地解散
<p>[感染防止策 マスク(フェイスシールド)着用のこと。※予備マスクもご用意ください。]</p> <p>[持ち物] 筆記用具, 飲み物, 雨具, 運動靴, 防寒具, 双眼鏡, カメラ ※防寒対策を十分にしてください。※フィールドスコープは持参しないでください。</p> <p>[参加費] 500円(参考資料代) ※小中学生は無料(保護者同伴のこと)</p> <p>[講師] (公社)日本山岳SC協会認定 自然保護指導員 谷角裕之委員 伊佐 登 日本野鳥の会からも講師派遣される予定</p> <p>[天候] 前日18時以降のNHKTV天気予報で,京都府南部午前の降水確率40%以上の場合は中止。 不明の場合は担当者(自然保護委員)にお問い合わせください。</p> <p>[申込み締め切り] 2月15日(火曜日)までに担当者に連絡してください。</p> <p>[備考] 新型コロナウイルス感染状況により,中止する場合があります。その場合は事前に連絡します。当日朝に検温し発熱や体調不良の場合は参加ご遠慮ください。 現地ではソーシャルディスタンス(間隔)を1~2m保ってください。</p>			
第2844回 府民 自然観察会 (岳連自然保護委員会主催) 西芳寺谷・松尾林道の自然観察	5月15日(日) 集合 午前9時 場所 松尾神社 赤(奥)鳥居	方山宗子 岡田茂久	松尾神社~月読神社~西芳寺~西芳寺林道(京都一周トレイル標識51)~西芳寺林道5号橋~西芳寺古墳群~西芳寺林道(京都一周トレイル標識51)
<p>阪急松尾大社駅前にコンビニがあります。</p> <p>[持ち物] 日帰り登山装備, 防寒具, 筆記用具, 昼食, 雨具, ストック, 登山靴が望ましい。、 地図(ダイジェスト版)は現地で配布。</p> <p>[参加費] 500円(参考資料代) ※小中学生は無料(保護者同伴のこと)</p> <p>[天候] 前日18時以降のNHKTV天気予報で,京都府南部午前の降水確率60%以上の場合は中止。 不明の場合は担当者(自然保護委員)にお問い合わせください。</p> <p>[申込み締め切り] 5月10日(火曜日)までに担当者に連絡してください。</p>			

第2845回 京都府下一斉清掃登山 Rコース 稲荷～伏見桃山城	6月5日(日) 集合 JR 稲荷駅 午前9時	岡田茂久 方山宗子	稲荷～伏見桃山城
備考 担当コースが(稲荷～伏見桃山城)に変更になっています。 島津 WV 部, 京都熊笹会との合同作業になります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。 手袋, ゴミ袋は用意しています。火ばさみを持参頂ければ楽です。荒天予報以外は雨天決行。 収集したゴミの集積は伏見桃山城入口に集積します。 (JR 利用の場合は必ず担当まで連絡ください)			
第2846回 和泉山脈最西端 高森山(3等△284.5)	7月3日(日) 集合 参加者で調整	井戸澄夫	京奈和道～和歌山 IC～市民の森 ・・四国山(241m)・・高森山 ・・往路下山
備考 和泉山脈最西端の山。紀淡海峡, 友ヶ島, 淡路島の絶景を楽しみます。歩行2時間程度。			
次回の集会(総会) 日時 2022年7月20日(水) 午後6時30分～ 場所 職員会館「かもがわ」			



令和3年度の交通局の状況

松田 誠二

令和2年2月以降, 新型コロナウイルス感染症が拡大し, 4月には緊急事態宣言が初めて発出されて以降, 令和4年1月までに計4回も発出されるなど, その影響は大きく, 京都を訪れる観光客の減少や外出の自粛などにより, お客様数は大幅に減少した。(下図参照, 地下鉄の乗客数)

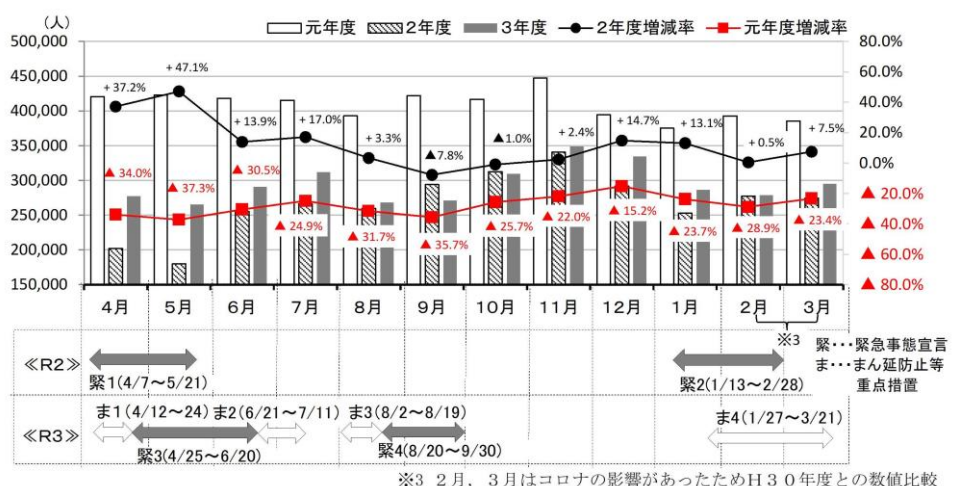
令和3年度の市バス・地下鉄両事業の収入は令和元年度比で約130億円の減収となった。一日あたり, 3500万円の減収である。

市バスにおいては, すべての各系統で赤字となり, 地下鉄では, 累積資金不足(不良債務)が305億円となり, 経営健全化団体となった。一般の企業であれば, とくに倒産している額である。

そのため, 令和4年3月に京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン【改訂版】を策定し, さらなる経費削減, 収入増加策などに取り組む。新型コロナウイルス感染症の影響はあまりにも大きく, 交通事業を将来

にわたり維持していくためには運賃改定を見込まざる得ない状況である。

100年度も走り続ける市バス・地下鉄を目指し, 全職員一丸となって経営改善に全力で取り組んでいかなければならない。



【第2839回例会】 2021年（令和3年）12月5日（日）

若狭 久須夜ヶ岳（1等△618.7）

井戸 澄夫

この例会は11月7日に予定していたが、都合により延期した。その後、堀田氏と廣瀬氏から参加希望があったので、12月5日に行くことになった。9時に堀田氏を鳥丸四条で拾い、湖西道路を安曇川まで。そこに廣瀬氏の家がある。廣瀬氏は数年前から安曇川駅の近くの戸建ての家に住んでいる。計3人でまず小浜港の市場の中にある食堂で焼きサバを食べた。この時期のサバは旬で脂が乗って美味である。若狭から京都へ抜ける道は古来から鯖街道と呼ばれていた。天気は晴れており、小浜港からは海の向こうに三角錐の格好良い姿の久須夜ヶ岳が見えた。小浜からはエンゼルラインという道路が山頂の駐車場まで通じており、そこから10分ほどで一等三角点である。もともと登りはほとんどなく、頂上からは小浜湾や日本海の絶景が見れるということで、廣瀬氏も参加する気になったのである。しかし、エンゼルラインの入り口まで行ったところ、ゲートは閉鎖されており、12月からは冬季通行禁止期間となるとの看板がかかっていた。事前に調べていなかった小生の不覚である。歩いて登れば2時間以上かかる。全員一致で登らないことに決定した。小浜港まで戻り、「浜の湯」という温泉施設で入浴してリラックスした。帰路、朽木の廣瀬氏推奨の店で鯖寿司を購入して土産にした。大変、美味であった。来年は11月に登ることでリベンジし、美味しい焼きサバも食べることにしよう。

【参加者】 堀田 剛，廣瀬光太郎，井戸澄夫

【第2841回例会】 2021年（令和3年）12月19日（日）

納山祭 牛尾観音 音羽山（593.2m）

松田 誠二

新型コロナウイルス感染症が少し収まったこともあり、久しぶりに納山祭を行った。9:00 山科駅に集合し、自家用車3台に乗り合わせて出発。9:27 牛尾観音のふもとの駐車場に車をとめて登山開始。9:47 牛尾観音に到着。10:39 パノラマ台分岐、11:00 音羽山に到着した。天気もよく、北側に比叡山、右側に大津市街と琵琶湖、左側は山科市街地と京都盆地がきれいに見えた。



約30分ほど頂上で記念撮影などゆっくりしたあと、そのまま逢坂の関まで下る人と車に戻る人との別れた。

その後、鰻と錦糸卵で有名な「かねよ」で、参加者全員で昼食をとり、15:00 解散した。

【参加者】 9名，井戸澄夫，松田誠二，室谷和彦，森本清一，鷺見壽未子，方山宗子，岡田茂久，岡本義弘，田村正弘

府民春の自然観察会-松尾大社から西芳寺谷

岡田 茂久



2022年5月15日(日)、天候は上々で、9:00に松尾大社の二の鳥居脇に集合。参加者は岳連傘下各山岳会員と一般市民参加者合計52名、委員14名の計66名と、いつもとおり自然観察会は人気がある。委員紹介とコース概要等のオリエンテーションの後に松尾大社楼門を潜る。

松尾大社(まつのおのたいしゃ)は式内社(名神大社)二十二社(上七社)の一社。旧社格は官幣大社で、現在は神社本庁の別表神社。名神大社の名神とは特にご利益のある選ばれた神社である。

松尾大社二の鳥居には「脇勧請」という注連縄に榊の小枝を束ねたものが下がっている。これは枝の枯れ具合でその年の豊作を占うものという。完全に枯れると豊作らしい。平年は12本がうるう年は13本が下がっている。

祭神は古事記によると須佐之男命の孫の「大山咋神=おおやまくいのかみ」と「市杵島姫命=いちきのひめみこ」。

平安時代より優れた霊力によって、「賀茂の厳神」「松尾の猛霊」と崇められ、都の守り神と称えられ京都最古の神社の一つでもある。

京都洛西の総氏神であり、当方の地元の桂も氏子であり、古来、治水、土木、建築、商業、交通、安産、農業の守護神として仰がれ、特に醸造祖神として、全国の酒造家の製造及び販売業の方から格別な崇敬を受けている。境内の「亀の井」の水を混ぜて醸造すると酒が腐らないという。「市杵島姫命」は渡来人である秦氏の崇敬を受けた海上交流の安全を守る女神である。

境内に咲く4月の山吹の群落はつとに有名で、境内や参道に約3,000株、一ノ井川(境内の水路)沿いでは黄色い山吹が咲き、境内の名庭「上古の庭」では白い山吹が咲いている。

近年の台風で神殿裏の樹木が倒れ、隠れていた岩壁が露になり、新しい磐座の出現と話題になっている。



その下あたりに繁茂する「カギカズラ」は鋭い爪カギを持ち他の樹木にカギを引き掛けて伸びる植物で鎮痙・鎮痛作用のある薬用植物である。

次いで立ち寄ったのは「月読神社=つきよみじんじゃ」(10:45~11:00)、松尾大社の境外摂社である。日本書紀によると487年(顕宗天皇3年)顕宗天皇の勅命により、(天照大神=アマテラス)の兄弟神である月神(海の干満を司る神)の天月神命(あめのつきのかみ)を、壱岐(壱岐の島)県主「押見宿禰」が山城葛野郡に祀ったのが月読神社の起源という。

桂川周辺には月の神を奉祀する信仰遺跡が広範囲にあるという。月と桂を結び付ける観念は中国に古くからあったらしいが、そういえば「月桂冠」という言葉からも、桂の地名は月読神社に起因するのではと考えるのは素人考えか。

境内にある月延石(つきのべいし)は「安産石」とも呼ばれ、安産の神として信仰されている。伝説では、この石は元々九州筑紫の国にあり、神功皇后が応神天皇を産む際にこの石で腹を撫でて安産したという。扁平な石が奉納されており、産熟に持ち帰り安産であれば同様の石を添えて返納するという。

松尾大社の摂社になったのは、1878年(明治11年)というから近年の事である。松尾大社創建との関わりは薄いと思われるが、松尾大社の神幸(おいで)祭、還幸(おかえり)祭の月読神社神輿の位置づけ、還幸(おかえり)祭の際に松尾大社楼門軒先の「カツラ」の枝飾り等を見ると、月読神社が境外摂社になって松尾大社の祭事により深く関わるようになったように見える。

次いで最福寺。本堂のみの瀟洒な寺院である。源頼朝の従伯父(いとこおじ=親の従兄)にあたる延期上人が開祖。太平記には49棟もの大楼阁を並べた大寺院であったと記されているが、幾度も兵火を浴びて衰退し現代に至るといふ。大きな観音像と六地藏が美しい。

細い路地を通り抜ければ鈴虫寺である。年中、鈴虫が鳴いていると聞く。段が低く100段近く

もあると思えない石段、登れば草鞋を履いて幸せを配って歩く「幸福地藏」様が迎えてくれる。

鈴虫寺から直ぐに「松室安らぎの森」様々の植物が植わっており、森林浴に親しむには最適である。



次にあるのは「かぐや姫竹御殿」。最近美しく庭園が整備された。

京都バス終点のバスプール前を過ぎれば西芳寺である（11：30）。

西芳寺、創建は奈良時代まで遡り行基が開祖と伝えられている。時代が下ると一時衰退したが鎌倉末期に夢想国師が再建。しかし江戸時代に2度にわたり洪水に襲われ、元は枯山水であった境内は荒れ放題に放置された。そのおかげで江戸時代末期になると庭園が一面の苔で覆われるようになり、「苔寺」と呼ばれるようになったという。現在は120種に及ぶ苔が美しく手厚く手入れされている。拝観は読経と写経が必須の事前申し込みが必要で、外部からは庭園は望めず苔庭を想定するにとどめる。

山の神の碑を過ぎると京都一周トレイルの終点「西山51」（11：40）。西芳寺川林道（松尾山林道ともいう）入口ゲートである。ここから林道は未舗装のダートとなる。途中、樹木草類等の説明を受け2号橋から5号橋まで進み、西芳寺川古墳の道標のある右の谷への枝道に入る。少し登ると西芳寺川古墳の看板があり山裾に黒い穴が見える。ライト必須で入口は腰をかがめて潜り込むが、羨道部分の天井はかなり高く頭をかがめる必要が無い。中ほどの狭くなった部分を通り抜けると、一段下がった玄室で天井部分は3mほどの高さは有ろうか、ライトを当てると蝙蝠が慌てて飛び立っていった（12：15～12：30）。

元の林道に戻り500mほども登ると、道端にテーブルと椅子が設置された休憩場所がある。私設の「油の谷川原休憩所」というらしい。ここで昼食とする（12：40～13：15）。西芳寺川林道はJR保津峡駅上部まで続くが、JR保津峡駅に降りるのは難路である。自然観察会は休憩所から引き返すことになる。（14：00）西芳寺川林道一の橋で解散となった。

【京交山岳部からの参加者】 方山宗子、岡田茂久

【個人山行】 2022年（令和4年）3月12日（土）

播州相生 天下台山（2等△321.4）

井戸 澄夫

新型コロナウイルスオミクロン株の感染は、ようやくピークを過ぎたようで、1月27日からの京都府「新型コロナウイルス蔓延防止措置」も3月21日で終了した。京交山岳部では昨年12月19日の納山祭（牛尾観音・音羽山）は久しぶりの盛況であり、新年会と初登山も皆さん楽しみにしていたが、年が明けるや感染力の強いオミクロン株の急拡大で、すべての活動が休止に追い込まれた。天下台山も例会にするつもりであったが、部報発行も出来ない状況で例会も実施できないが、敢えて個人山行で行くことにした。

天下台山は相生市街からよく見える形のよい低山で、市民のハイキングコースとなっている。山頂からは瀬戸内海の島々や相生市街が見渡せ、日の出の美しい場所で正月にご来光を拝みに来る市民が多いとのことである。中腹に水戸大神の本宮がある。大きな岩がご神体になっている。登山ルートは西側の水戸大神鳥居から参道を登るのが一般的である。標高差200m強で道は広く歩き易

い。ゆっくり歩いて1時間程で山頂に着いた。山頂は広く眺望が素晴らしい。天下台山とはよく言ったものである。山頂には方向指示板があり、2等三角点(点名「相生」)が鎮座している。

下山後、室津漁港で牡蠣を食した。室津は遣唐使や平清盛の日宋貿易、足利義満の日明貿易、朝鮮通信使、北前船などの寄港地として古い歴史がある。近年、室津周辺の瀬戸内海で牡蠣の養殖が盛んになり、道の駅や多くのレストランも出来て、京阪神から牡蠣を目当てに多くの観光客が訪れている。広島まで行かなくても生牡蠣や焼き牡蠣を堪能できるスポットになっている。牡蠣の旬は3月中旬までなので、敢えて「蔓延防止措置期間」に来た次第である。

帰路、相生中心部のペーロン温泉で汗を流した。

【参加者】 井戸澄夫, 他1名



【個人山行】

冬が来る前に・・・外岩2題！！

Mr パーミング

冬が来る前に・・・令和3年、今シーズン最後のクライミング日記です。

◆その1 信楽 大鳥居

正宗師匠&吉兵衛師匠に誘われ、滋賀県信楽町の大鳥居ヘリードクライミング。ここの岩場はあまり知られていない場所で、新名神・信楽ICから15分程度で行ける非常にアクセスの良い岩場です。また近くにはあの有名な？ミホ・ミュージアムがあります。今回は両師匠と私の他に3名が参加し計6名となったので、ロープを3本出して皆で賑やかにクライミング。私は初めて触れる岩場だったので、師匠たちの登りを参考にフラッシュ狙いで登りました。

登ったルート

- 4度目の青春 5-10 a b → フラッシュ
- コブラツイスト 5-10 b → フラッシュ
- 京都の巨匠 5-10 b → フラッシュ
- ヒコーキ雲 5-10 b → レッドポイント
- 信楽街道 5-10 c → 落ちました！！

風が強く曇り空でしたが、天気は何とか持ちました。
結局、他のパーティーは現れず、貸し切り状態でエンジョイクライミング出来ました。



「コブラツイスト・5-10b」

◆その2 裏六甲 不動岩・陽だまりフェイス

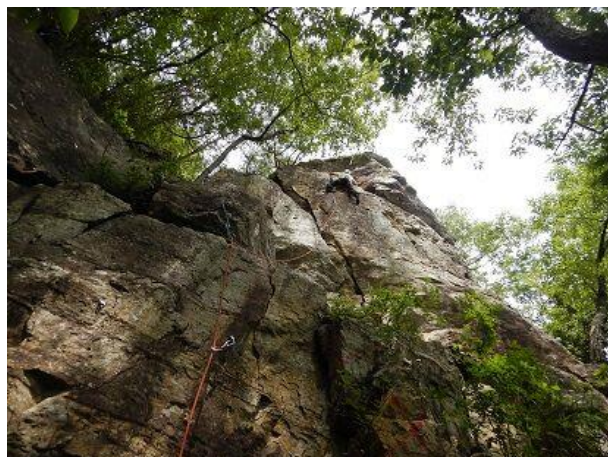
吉兵衛師匠と私、他1名の計3名で裏六甲・不動岩ヘリードクライミング。今回は陽だまりフェイスエリアへ行くことに……。このエリアは以前に報告したスカーフェイスエリア手前にあり、その名の通り日当たりの良い広いエリア。アプローチ道はスカーフェイスやシアターと全く同じです。

湿度が高めで手がぬめり易い日でした。他のパーティーは現れず、エリア独占で登れました。

登ったルート

- | | | |
|---------------|-------|-----------|
| ○ めだかの学校 | 5-6 | → オンサイト |
| ○ ぽかぽか | 5-8 | → オンサイト |
| ○ 春の小川 | 5-9 | → オンサイト |
| ○ ダンス・ダンス・ダンス | 5-10c | → レッドポイント |
| ○ おきばりやす | 5-10c | → フラッシュ |
| ○ 小癩（こしゃく） | 5-10b | → レッドポイント |

“ダンス・ダンス・ダンス”，“おきばりやす”，“小癩（こしゃく）” が落とせてお土産（成果）有りの楽しい1日でした。



「ダンス・ダンス・ダンス 5-10c」

例会報告(まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2839	若狭 久須夜ヶ岳 (1等△618.7)	晴れ	令和3年(2021) 12月5日(日) (日程変更)	井戸澄夫	堀田 剛 廣瀬光太郎	別項詳報
2841	納山祭 牛尾観音 音羽山	晴れ	令和3年(2021) 12月19日(日)	松田誠二 井戸澄夫	室谷和彦, 森本清一 鷺見壽未子, 方山宗子 岡田茂久, 岡本義弘 田村正弘	別項詳報
2842	初登山 鞍馬山		令和4年(2022) 1月9日(日)	松田誠二 堀田 剛		新型コロナ 感染拡大の ため中止
2843	府民野鳥観察会 (岳連自然保護委員会主催) 三川合流地点桂川左岸		令和4年(2022) 2月20日(日)	方山宗子 岡田茂久		新型コロナ 感染拡大の ため中止
2844	府民自然観察会 (岳連自然保護委員会主催) 西芳寺谷・松尾林道	晴れ	令和4年(2022) 5月15日(日)	岡田茂久 方山宗子		別項詳報

雑 報

△△△ 2022年1月の集会(兼新年会)

日 時 1月7日(金)

場 所 職員会館「かもがわ」

担当者 松田誠二, 室谷和彦

内 容 新型コロナウイルス感染拡大のために延期しました。

△△△ 新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、集会、例会が実施できる状況になりました。

今回部報(No. 813)は2022年2, 3, 4, 5, 6月合併号として発行します。

次回部報は2022年7, 8月合併号とする予定です。

△△△ 総会のお知らせ

日 程 2022年7月20日（水）午後6時半～

場 所 職員会館「かもがわ」

担当者 松田誠二

堀田 剛

室谷和彦

内 容 コロナ感染状況によっては、弁当とお茶だけの会になるかも知れません。
費用は山岳部負担です。

△△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い、部報の発送先、発送方法に変更がある場合は、必ず部報発送担当者（松田）まで連絡してください。

※パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方は、パソコンのアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

△△△ 部費の徴収について

山岳部費については2019年度から徴収せず、山岳部の活動は内部留保金で運営しています。

△△△ 2022年度（令和4年度）日山協山岳共済会の山岳遭難・搜索保険について

共済会事務局から、令和4年度からは個人契約にするとのこと。

年末には個人契約としての案内が各自に送られることになります。

申し込みも各人が共済会に直接申し込むことになります。（井戸）

《新入部員募集中》

令和4年6月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>